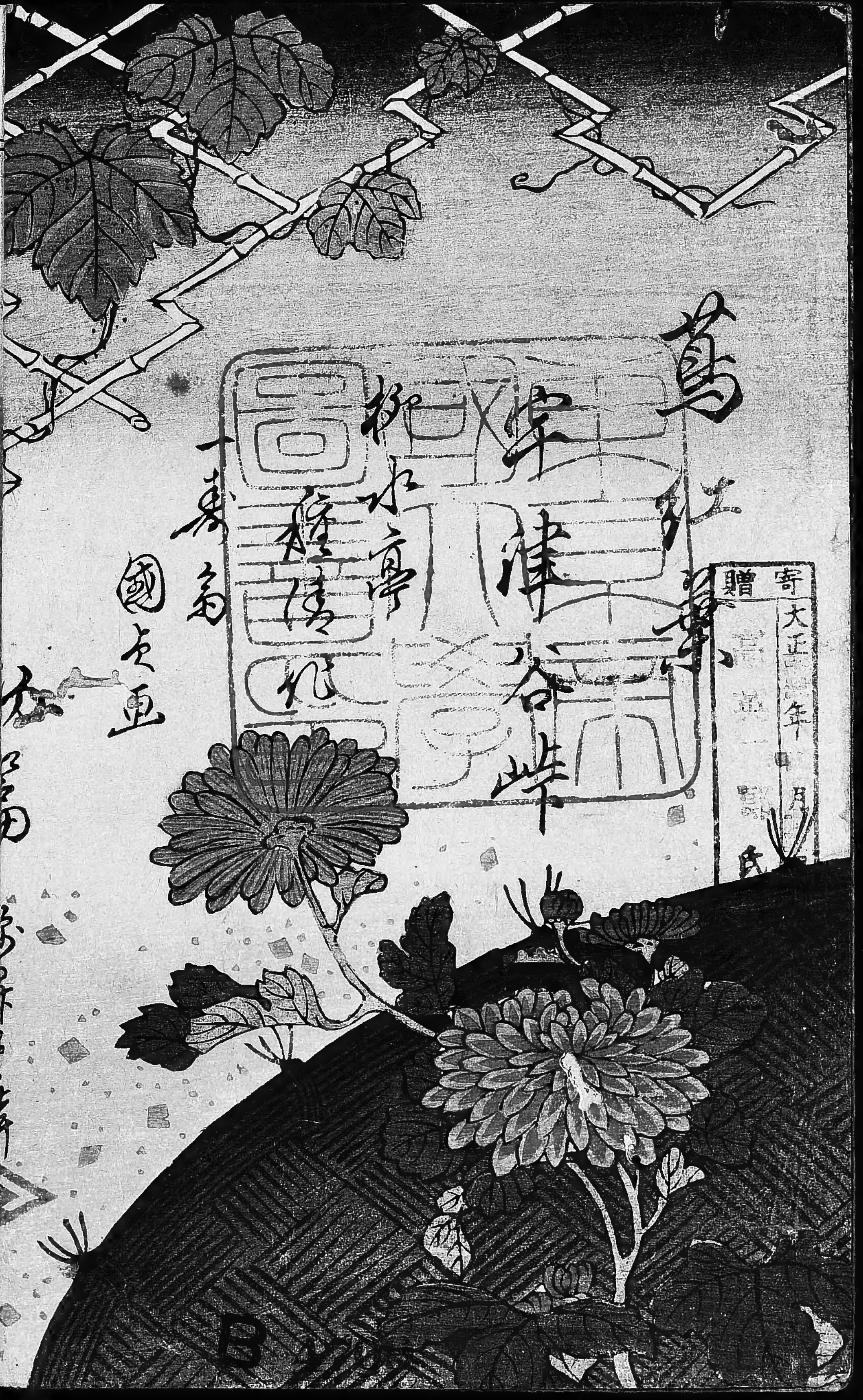
蔦紅葉宇津谷峠
初編
上の巻
柳水亭種清録
梅蝶楼国貞画
錦昇堂梓


蔦紅葉宇津谷峠
柳水亭種清記
一寿斎国貞画
寄贈
大正

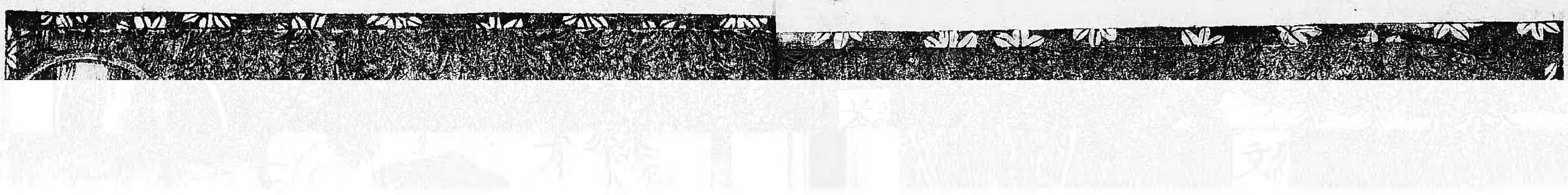
蔦紅葉宇津谷峠
初編
國貞画
種清綴
錦昇堂發行記
上
下

序へ緒あり其糸首へいづきより發起さんと手を容て紘方
形る怪譚宇津谷嶺の紅光勤へ文弥が憤怒の恨を結ぶ
炎ふ其黒き糸伊丹屋重兵衛が戝布の紐へ提婆が慾の
根を結ぶ黄金ふそれ色黄なる糸待掛才三が髻索る
於駒が戀の縁を結ぶ白木屋の白き糸毛綱も追ざるぬ
恵比寿屋が釣込む女商販へ然もその色黒き
吾亭号の痩赤へ拙き枝ふ考志弱きその色青た
糸條を解し御覧じめせ

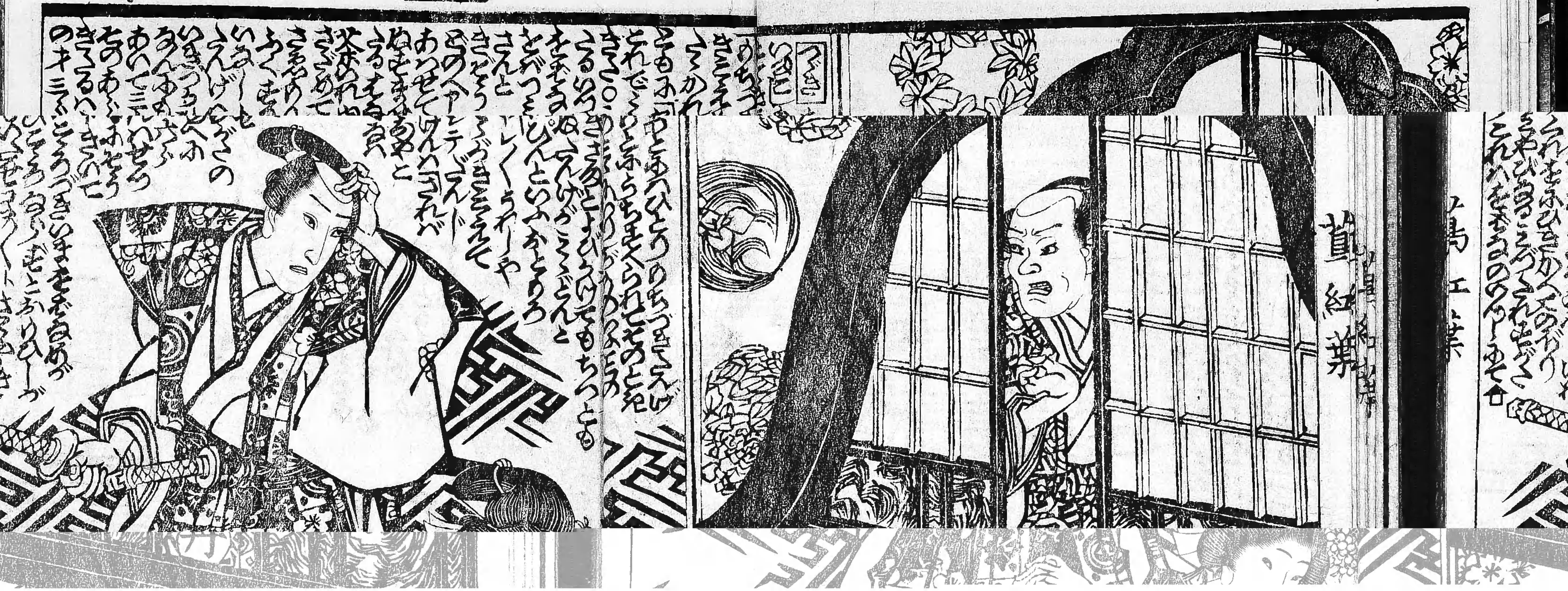
丙辰季秋吉辰

柳水亭種清誌

兵衛

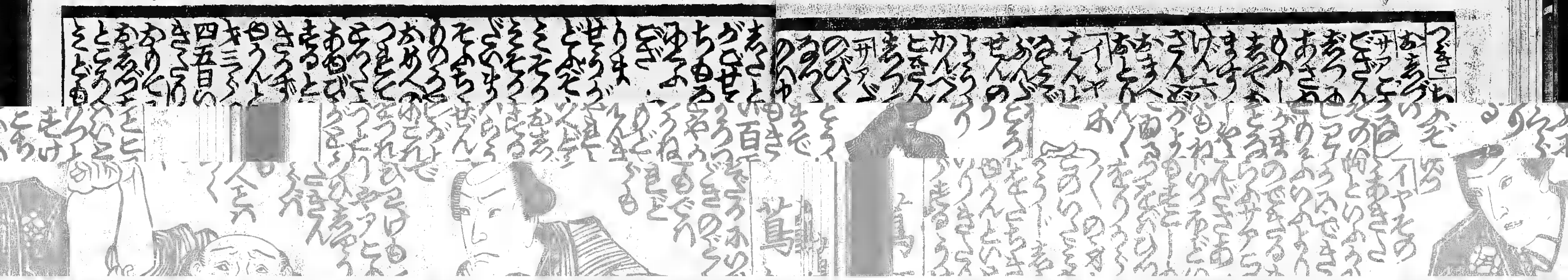


佐々木のおくごてんの
望月



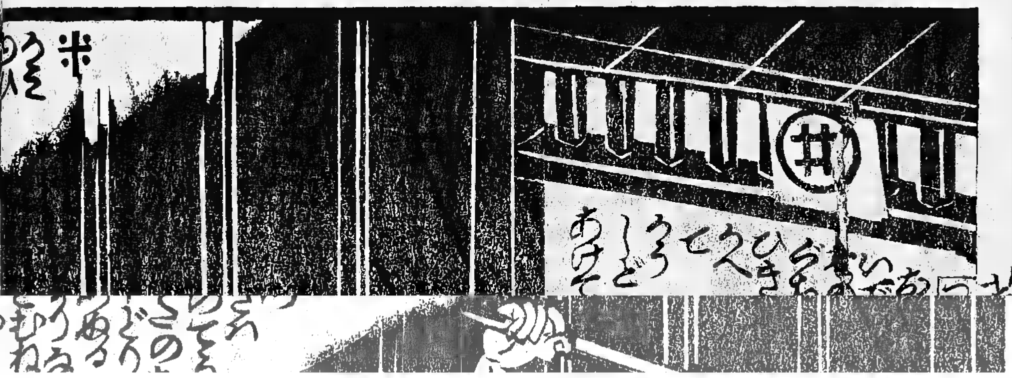
丹

のこな[illegible]
のしけ[illegible]
三つふは[illegible]
白えあ[illegible]
同しく[illegible]
とゑろ[illegible]
ちき[illegible]
いゑ[illegible]
いき[illegible]
せよと[illegible]
ぴんとも[illegible]
のめて[illegible]
わるく[illegible]
あん[illegible]
うりけ[illegible]
○よるの[illegible]
ひろり[illegible]
ねかま[illegible]
やすの[illegible]
よこふ[illegible]
まそ[illegible]
あそさ[illegible]
あうね[illegible]
うとう[illegible]
おもえ[illegible]
十べの[illegible]
すりし[illegible]
あのの[illegible]
まよよ[illegible]
るるゐ[illegible]
ゆく[illegible]
さんの[illegible]
きせう[illegible]
不ぞ[illegible]
ねくる[illegible]
むもあ[illegible]



つゞき

おもふ
きところ
てあらひを
あふひゆきのむ
そのまゝふゝと
めふつのまる
ごんのうちまで
まさしくさて
わうまるお
これをつくし
さの三つかねてう
さらにやふう
きのつるうん
ひふまたにら
ありなれぬめ
ところ四がにざ
うらしおんやの
高もあらけ
えそれなけき
とありをきら
いちやうもとふ
めでふの事
あふねとしふあむ
じらをさげその
またとぞ
ドウルをまろきや
丑べくいちこぶ
つるをありおう



十二

あのかでおらふかそふ
でいろのこれまでぞアや
こぼれらふいらふをうけ
ごもとろ匕ふめがさめて
そりやめんがくろく
せあでらぶ三のいひとけふ
おやと三人らふりのもらとぞ
ふさあるとらえきふきて
その官金きんの匕ふもと
おのくとところができ取へつゐ
あまよぜんどの身かのろのと
名をとろするうへおかうえの
おしあきらけると申そみふ
官位ゐんがよつてやりくさは
ぬきめいもぐふてんのあとかをや
つうきるそろてふますでいらうを
うけるがめんがく大ハト身をあ死
むしあとそらひもらそひらう
とんぶんやれあ「そりやおやぢ
さるをかうてうろてつてらーを
ふびんとおのかてらんきんの匕ふ
ぬまとを取さ匕ところあ衫し
めしがまん
きんねの
さる取をしまるをあうし
みされゆへ申おんのびのかして
とのちと申さりしいとてろを◯

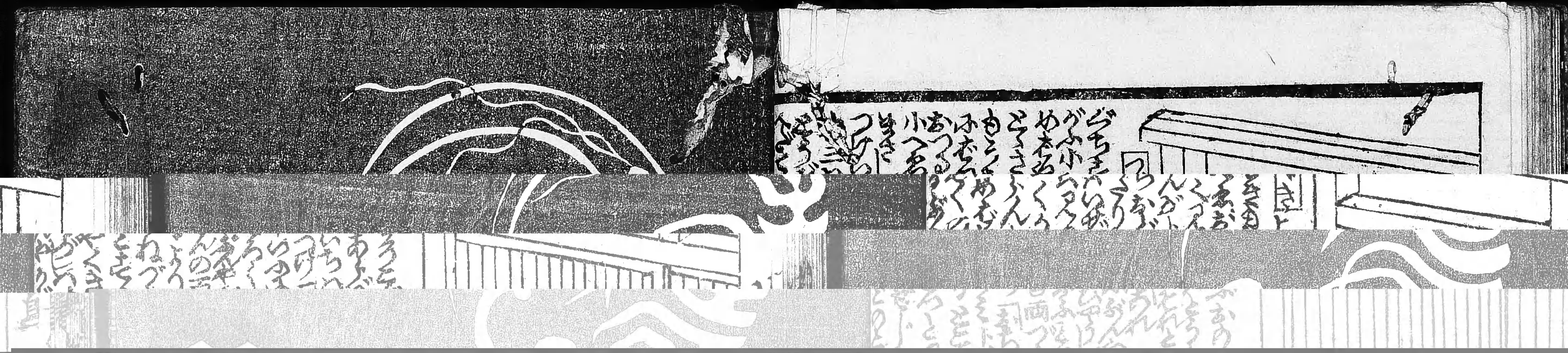
つゞき

四
針治
文跡

つゞき
清

文
律
市

つぎゆうだいや
ところはかねまへ
めのおたすけなる
おとうさまにまかせ
そしめうらいめと
をのこしおん
まへさまに
おせわをうけは
ごんそれのところ
ござしでんドはへ
らせそろほどに
やましくおきてを
[illegible]
ひとをきろうえ
せがんやうすにもみ
ぶかんやあどもよりは
ありふやどうのうね
しのいごしてにあらざればは
しづくあねさんをそりあど
さんにようけいげにもちくやうらう
おしとめ「そよろあまるけれど
とかどやがるとふうくぞらうぶ
上京してうえぬきをとらず
あねさのうつくすあらうこ
でのようにへをしや「それに
つけてわろうようのうねがい
ぎうつもしるやうようふ
小へゑふらうそのうち
十五両それくらいわれ
「ござりまするト
きいてびつくり
「イヤそのぐらう
ろうようのうね
とあそびをそう
「スリヤあの
五両の
[illegible]



安政四丁巳春新彫目録

竹雀千代哢
西馬補案
國輝画圖

聖徳太子大和鏡
万亭應賀作
一寿斎國貞画

鎌倉又帋[illegible]杉
西馬作
國麿畫

雲龍九郎偸盗傳
故人三馬遺稿
増補西馬案
画工一勇齋

蔦紅葉宇津谷峠　初編

貝

E24
189